



「援農」 活動状況

- ・4月8日の季節はずれの雪には驚かされましたが 畑では大根・キャベツ・小松菜等が収穫を待っています。援農への参加 お願いします。
- ・きのこの植菌作業は おかげさまで 一段落となりました。

○ 3月の援農時間は 1197h となりました。徐々に増加の傾向。

3 月 度 理 事 会 よ り

3月27日(金) 18:00~21:00 浅川市民センター

主なる打ち合わせ・確認事項

- ① 総会での質疑への対応 — 別紙にまとめ 会報紙と 同時配布へ
- ② 法務局への 登記手続きについて — 略
- ③ 援農活動での人財手配状況 農家需要 > 市民会員の参加 対応策検討
- ③ 新規開設農園の応募状況 ・ 小比企地区の事前準備作業について
- ④ 『派遣』『最低賃金』と**すずしろ22**
 - ボランティア精神をベース
 - 会員間相互扶助方式 (偏務傾向に対して若干の謝礼)
 - お金に代え難い新鮮・安全・BC級野菜による謝礼
- ⑤ 会員の慶弔について — 手紙による弔意の伝達 等

チョツと耳にした情報・アドバイス

- (1) れんげ草
水田・畑一面に咲くピンクの花も 最近 みかけなくなりましたが そんな中 一軒の農家あり「昨年から 循環型農業の再現にトライしている。根瘤菌の窒素肥料に期待」
- (2) トマト苗の植え付け
夏野菜苗の植え付け季節がいよいよ到来です。「トマト苗の定植ではチョツとしたテクニックがある」 「水分を求めて地中に根が伸びるので 深めに元肥をいれておくと 効果抜群」
- (3) 体験談の共有 (天栄村 米作研究グループ)
福島県に20数名からなる米作研究会があり 全国大会で連続入賞の実績。その極意は? 「一人ひとりの体験を共有・参考にすれば20年分のノウハウが 一年で身に着く」



食の安全・安心

みなみ野 菅 末廣

援農体験記

去年、NPO 法人すずしろ22に入会し、援農ボランティアに手探りの状態で活動してきました。2年目を迎え、やっと自主性をもって援農に参加することができそうです。

幸先よく、1月から椎茸栽培農園さんの援農に携わることができ、援農の都度農家さんからお聞きした話の中で、一番心に残っていることは、「食の安全・安心」への取り組みでした。原発事故の影響で、放射性物質の影響を考慮し、椎茸栽培の要である原木調達先変更を余儀なくされ、ずいぶん苦労なされたそうです。

それは、安定的に安全な食品を消費者にお届けすることが農家さんの最優先課題であるからです。

特に「食の安全・安心」は、消費者にとって関心の深いところであり、私自身消費者の一人として、また、生産者の応援に携わる者の一人として、これからも援農ボランティアに参加させていただきたいと思います。

農園 便り

清水 義秋

新富所農園 会員募集



小屋が ほぼ完成

開設しました新富所農園の申し込みが やや 低調です。友人知人への紹介 お願いします。

- ・滝山道の駅から 新滝山街道を 西へ 3km
- ・会費 20000円/ 50㎡ ・ 年間



「なの花や 月は東に 日は西に」(蕪村)

事務局からのお知らせ

人材—農家需要と市民意欲のマッチング

- (1) ♪ 春の川川はさらさらしくよ 岸のすみれや 蓮華の花に・・・ ♪
農道脇には 菫が咲き 鮮やかな菜の花がめにしみます。唱歌にうたわれているとおりの田園風景が そこかしこに みられます。援農活動へのご参加 お待ちしています。
- (2) 『花とみどりのイベント』
市民活動協議会からの急な連絡で参加することとなりました。4/18(土)19(日) 放射線道路。あいにく野菜端境期ではありますが 会のPR・会員募集の場としても意識。
- (3) 4~ 5月の予定
例年どおり 寺田町の常盤さん宅の竹林での たけのこ掘りを 計画しました。
4/26 4/29 5/4 5/10 土がやや堅めですからスコップ・ツルハシの類が最適道具。